

## 派遣留学体験報告書（オンライン留学）

参加年度（出発年度）	2021年度
オンライン留学先国	台湾
オンライン留学先大学	国立台湾師範大学
プログラム開始日	2021年9月22日
プログラム終了日	2022年6月19日
今回の留学にかかった費用	1500円
留学の目的とその達成度合	中国語の勉強が目的でした。☑ オンラインで開講している授業が少なかったのでできたことはあまりありません。☑ 語学に関して言えばリスニング力向上に特化しました。
留学を通して得たもの（スキル、経験）	時間通りにインターネットに接続するというスキル。☑ パワーポイントや図示などによってプレゼンテーションを行うスキル。☑ 中国語でメールのやり取りをするスキル。☑ 配信された動画を計画通りに見て課題を提出するスキル。
留学先大学への支払い方法	その他
履修した科目	中国文学史Ⅰ☑ 地球外生命体☑ 中国語
授業内容	中国文学史Ⅰ☑ ムードルで授業動画が配信された。配信後5時間以内に課題を提出することで出席したことになる。三回ほど試験あり。内容は先秦時代から南北朝時代の文学史。代表的な作品を鑑賞して文学史を学んだ。☑ 地球外生命体☑ ムードルで週に一度3時間程度の長さの動画が配信される。全4回の試験を通して動画の内容理解度を問われる。内容は地球外生命体の探索の歴史や概論など。映像作品やドキュメンタリーを交えて学ぶ。☑ 中国語☑ 週に約6時間の授業。環境保護、就職、社会問題など社会的な話題を通して中国語を学ぶ。ニュース動画や文章を読んでクラスメイトとディスカッションをするというのが基本。月に一度プレゼンテーションの課題がある。
授業の開講時間および現地時間との時差	中国文学史Ⅰ☑ 毎週金曜日の18時に動画が配信され、当日中に課題に取り組むというもの。☑ 地球外生命体☑ 完全オンデマンド形式☑ 中国語☑ 15:20~18:10(時差1h)
外大の授業との両立について	週に外大の授業を9コマ（1コマ90分）、留学先の授業を4コマ（1コマ3時間）履修。留学先の課題が多だけでなく、難しかったこともあり、1コマは単位取得ができていないものと思われる。課題は毎週あるものもあった。テスト期間中はほとんど寝ることができなかった。しかし、外大のテスト期間とは幸いにも一週間ずれていた。結論として両立は難しかったと思う。もう少し外大のコマを減らせばよかったと思う。
授業内容やプログラム全体に対する感想	授業内容や、サポート体制などは大変満足している。しかし、渡航できなかったことのマイナスはやはり大きい。クラスメイトの中には現地にいる者もいたために、同期のオンライン授業では雰囲気がかみにくかった。また、履修登録の方法や、課題の方法などが分からないことも多く、大変だと思った。学期の途中で課題の提出の期限が変わるなどの変更があり、困惑したこともある。
現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について	日本語、日本文化、日本食、日本の遊び・サブカルチャーなどを紹介したり披露する機会があった
交流活動の具体的内容	中国語の授業の課題でプレゼンテーションが課されたが、その中には自国の文化や社会問題を紹介するものもあった。
プログラムに対する満足度 （10段階：低1～高10）	5
その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想）	同じ留学先の友人を作って情報を交換し合うべき。☑ 渡航禁止はなかなか解けないということを知った。☑ 新型コロナウイルスに人間は勝つことはできないだろうなと思った。
今後の予定について教えてください。	その他
「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。	引き続きオンライン留学を行う。
今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど	オンライン留学はあまり良い選択とは言えません。

## 派遣留学体験報告書（オンライン留学）

参加年度（出発年度）	2022年度
オンライン留学先国	台湾
オンライン留学先大学	国立台湾師範大学
プログラム開始日	2022年2月14日
プログラム終了日	2022年6月17日
今回の留学にかかった費用	0
留学の目的とその達成度合	中国語力の向上と、台湾文化を学ぶためにオンライン留学に参加した。語学力に関しては、特にリスニング力が以前より向上したが、スピーキングはそこまで上達できなかった。しかし、留学以前と比べて、中国語を話すことへの躊躇いなどがなくなり、積極的に話せるようになったことは大きな成長だと思う。台湾文化に関しては、授業に関連する文化については学ぶことができ、より深い台湾の理解につなげることができたが、オンラインプログラムのため留学先の学部の授業を受けられず、現地の学生との交流はあまりできなかったため、当初から興味があった若者に関連した文化などについてはあまり学ぶことができなかった。
留学を通して得たもの（スキル、経験）	オンライン留学で中国語しか話せない環境の中に自分自身を置いたことで、以前はあった中国語を話すことへの躊躇いがなくなったことは大きな成長だと思う。間違ったらどうしよう、相手に伝わらなかつたらどうしようなど考えずに、とにかくまずは話してみようと思えるようになった。学部の授業の方も難しくわからないことが大半を占めていたが、焦って立ち止まらずにまずやってみようと思えるようになった。
留学先大学への支払い方法	0
履修した科目	学部（国文系）：中国文学史（二） <input checked="" type="checkbox"/> 語学学校（MTC）：即時新聞-中高級口語訓練 LATEST NEWS - INTERMEDIATE & ADVANCED SPEAKING PRACTICE
授業内容	中国文学史（二）：moodleを使ってあらかじめ録画された授業を見るオンデマンド形式の授業だった。一度だけGoogle Meetを使って同時遠隔授業をしていた。授業では、唐から清までの文学の発展史を学んだ。授業毎に、授業に関連した問題が出題され、moodle上で提出していた。試験は3回あり、1・2回目は他の留学生と同様に持ち込み可で4時間の試験時間以内に先生に解答を書いたwordファイルを送る形式で、3回目の時だけ現地の学生と同じ形式で、試験時間が3時間になった。 <input checked="" type="checkbox"/> MTC：zoomを使った授業だった。毎回テーマに沿って先生がテキストを解説しながら、自分の意見を述べていく形式だった。ピンゴや他のゲームを利用して単語を覚えたり、生徒同士でロールプレイをしたり、楽しみながら勉強できた。テーマが終わるごとにプレゼンをした。テーマは少し難しく、環境問題から伝統芸能までと幅広かった。
授業の開講時間および現地時間との時差	中国文学史（二）：14:20~17:20(時差1h) <input checked="" type="checkbox"/> MTC：15:20~18:10（時差1h）
外大の授業との両立について	外大の授業を1コマ（加えて履修登録はしていないが、ゼミの授業も1コマ参加していた）、留学先大学の授業1コマ（50分×3）、MTC2コマ(50分×3)。履修数は少ないが、留学先大学の授業内容や課題が非常に難しく、予想以上に大変だった。外大の授業との両立はうまくできていた。
授業内容やプログラム全体に対する感想	本来の留学先学部の授業を、オンライン留学プログラムの関係上履修することができなかったことが非常に心残りである。履修できる授業もほぼなかった。ただ留学しなければ学ぶことのなかった分野を学ぶことができ、またオンデマンド形式だったので何度も授業を見返してリスニングの練習もでき、得られたものもあるのでオンライン留学をしてよかったと思う。授業は事前知識もほぼなく、予想以上に内容や課題、試験が難しく、大変だったがその分やりがいも感じられた。文学のことだけではなく、その時代の生活文化や政治についても学ぶことができ、実り多い授業だった。もう少し遠隔授業の回を増やしてほしい。
現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について	上記のような機会はなかった
交流活動の具体的内容	0
プログラムに対する満足度（10段階：低1～高10）	7
その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想）	参加前にもできるだけ中国語の勉強を進めといた方がいいと思う。先生と連絡が取れなかったり、直前までオンラインで授業が開講されるのか、日程などわからなかったりした。このような場合は連絡を待つのではなく、すぐに直接メールをして聞くことをおすすめする。やはり現地渡航を伴う留学に比べて物足りなさを感じるが、オンライン留学でも得られるものが多くあった。
今後の予定について教えてください。	派遣（交換）留学プログラム終了
「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。	0
今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど	オンライン留学だとより一層、自分が授業以外でどう生活していくかで、成果は大きく変わると思う。事前に自分の目標や目的を明確にしてある程度の予定は立てといたほうが有意義なものにできると思う。

## 派遣留学体験報告書（オンライン留学）

参加年度（出発年度）	2021年度	
オンライン留学先国	台湾	
オンライン留学先大学	国立台湾師範大学	
プログラム開始日	2021年9月27日	
プログラム終了日	2022年6月19日	
今回の留学にかかった費用		0
留学の目的とその達成度合	<p>中国語の能力向上☑            簡単な意見表明や、討論、説明、プレゼンテーションを行うことができるようになった。HSKの点数も、50点近くあがったので、ある程度の結果は出たと思う。☑            台湾のことを知る☑            台湾の社会や、経済、伝統などを題材にした授業を通して、学ぶことができたとと思う。就活や起業などの事情や、労働基準法などについても知ることもできた。</p>	
留学を通して得たもの（スキル、経験）	オンラインだったので、画面共有などの技術を使って自分の伝えたいことを伝える技術や、パワーポイントを作って、発表することができるようになった。	
留学先大学への支払い方法		0
履修した科目	中国語の授業☑ 宇宙の生命に関する授業☑ 中国文学史	
授業内容	<p>中国語の授業では、台湾の社会や、法律、経済、伝統、論争的な事柄について説明をきいて、議論した。毎月口頭発表表があり、そこで与えられたテーマについて調べて発表し質疑応答を行うという形態で行った。☑            宇宙関連の授業について、宇宙の生命体探査の歴史や、宇宙への人類の進出の歴史、展望などを学んだ。英語で行われた授業だった。学期に三回テストがあった。ムードルを介して動画が配信され、期限までに見るという方法のいわゆるオンデマンドタイプの授業だった。☑            中国文学史は、先秦時代から宋金の時代までの詩歌、叙事詩、小説などの歴史を学んだ。YouTubeにアップされた動画を見て毎週課題を提出するというもので、ムードルを介して受けた。授業内で口頭で課題は提示されるため、よく聞かないと課題ができず大変だった。必要に応じて日本の図書館の書籍で補って授業についていく努力をした。</p>	
授業の開講時間および現地時間との時差	中国語の授業は、15:20~18:10（時差1h）☑ それ以外はオンデマンドであったが、中国文学史は、金曜日の15時（時差1h）以降に動画が配信され、課題の提出は土曜日の25時（時差1h）までに提出、宇宙生命体の授業は毎週水曜日に合計3時間程度の動画が配信されるという形。	
外大の授業との両立について	外大の授業は春学期は5コマ履修、留学先は、3時間一コマの授業を3つ履修していた。課題が多く大変であった。	
授業内容やプログラム全体に対する感想	現地に渡航できなかったことは残念だが、自分のペースで勉強ができるというのは良い点だと思いました。ただし、あまりモチベーションは上がらないと感じました。	
現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について	日本語、日本文化、日本食、日本の遊び・サブカルチャーなどを紹介したり披露する機会があった	
交流活動の具体的内容	中国語の授業では日本はどうかとしばしば聞かれたので、授業に関連した日本の事例を紹介するなどした。例えば伝統的な祭りについてや、雇用関係の事件についてなど。	
プログラムに対する満足度 （10段階：低1～高10）		7
その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想）		0
今後の予定について教えてください。	派遣（交換）留学プログラム終了	
「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。		0
今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど		0